

一ノ木戸小学校 学校だより 令和3年6月25日第5号



ひびき

一ノ木戸ポプラ学園

めざす子ども像

◆豊かなかわりを
求めて
自分の可能性を拓く
子ども

臨時全校放送朝会(6/15)講話より～やさしさとがまん～

校長 渡邊 芳久

青空がいっぱい広がる、とてもすがすがしい朝です。(略)

5月に続いて2回目の臨時休校となりましたが、月曜日、火曜日のわずか2日間のお休みで学校が再開できることになりました。これは、学校の中で新型コロナウイルスの感染が広がっていなかったからです。もしも広がっていたら、もっと長い休校になっていました。みなさんがいつも先生方やお家の方の言うことをよく聞き、そして守って、感染症に感染しないように努力、がまんを続けてくれたおかげです。どうもありがとうございます！

6月の全校朝会で、元気、勇気が出る言葉をいくつか紹介しました。覚えていますか？その中に「人生にリセットボタンはないけれど、スタートボタンは何回押してもいいんじゃないかな」という言葉がありました。臨時休校をリセットして、「休校はなかったことに」とはできません。しかし、今日からまたかがやき合う一ノ木戸小学校のスタートです。みんなで、スタートボタンを押し合ってがんばっていきましょう。

さて、今、一番心が、身体が苦しい人は誰でしょう？私は、今日も学校に来ることができない、新型コロナウイルスに感染したお友達だと思います。また、今日も休まなければならないお友達だと思います。みなさん、優しい気持ち、思いやりの気持ちをもって登校できる日を待っていてあげてください。

また、修学旅行が急に中止になった6年生は、特に、不安な残念な気持ちでいっぱいだと思います。しかし、今の状況で安心して修学旅行には行けないことは皆さんもわかっていることだと思います。また、この残念な状況の中でも、一ノ木戸小学校の6年生ならば、何とか毎日の学校生活を充実したものにするよう努力してくれるものと信じています。しかし、修学旅行は、今後できるかどうかはまだ決めることができていません。というより、正直に言うと、考えていた計画通りには出来ないため、旅行に行けない可能性もあります。そんな中、学年主任の稲葉先生は休みの日も学校に来て、6年生のために、一生懸命に考え、頑張っています。6年生のみなさん、担任の先生方と心をつなげて、今は耐えてください、「行きたいよう」と叫ぶのは我慢してください。その気持ちは6年生の先生方は痛いほどわかっています。

全校のみなさんも同じです。この後、生活指導主任の高原先生から、学校での過ごし方のお話があります。今は我慢し、感染予防に努めていくしか方法がありません。ごめんなさい。でも、そんな中でも、一生懸命、学校生活を送ってくれるみなさんは、イライラの気持ちをお友達にぶついたり、やけになったりしたりはしないで、みんなと仲良く過ごすことができると信じています。

今日のお話のキーワードは「やさしさ」と「がまん」、「やさしさ」と「がまん」でした。(略)